

榎野川河口域・干潟自然再生協議会

ニュースレター

No.12

発行日：平成28年3月
事務局：榎野川河口域・干潟自然再生協議会

このニュースレターは、平成27年度に榎野川河口域・干潟自然再生協議会で話し合った内容や自然再生の取組の状況などをお知らせするものです。

実施日		内 容
		○モニタリング：アサリ個体数 適宜実施（環境保健センター） ○アサリ（間引き）、被覆網の管理、モニタリング等（適宜実施）【水産多面的機能発揮対策事業】 〈山口湾の干潟を守る会（山口県漁協吉佐支店山口きらら支所）〉
5月	2日	○第19回榎野川河口域・干潟自然再生協議会会議 ○住民参加による干潟耕耘（耕耘、被覆網設置）、アサリモニタリング、干潟生物観察会等／南潟 【榎野川 森・里・川・海 自然再生プロジェクト(AQUA SOCIAL FES!!2015)】 〈榎野川流域地域通貨・連携促進検討協議会、山口県漁協吉佐支店山口きらら支所〉
6月	7日	○四季の森整備（仁保自治会）
	22日	○カプトガニワーキンググループ打ち合わせ会議
7月	4日	○ナルトビエイ駆除／榎野川河口 ～10月31日（17日間）〈榎野川流域活性化交流会〉
	18日	○ふしの川水系クリーンキャンペーン／榎野川中流〈榎野川漁協、山口市〉（雨天中止）
8月	29日	○カプトガニ幼生生息調査／長浜〈カプトガニワーキンググループ〉
9月	2日	○カプトガニ幼生生息調査／南潟〈カプトガニワーキンググループ〉
10月	1日	○榎野川河口域・干潟自然再生協議会第2回順応的取組促進専門委員会／山口大学工学部
	8～9日	○自然再生協議会全国会議／広島県北広島町〈環境省〉
	24日	○河川清掃／榎野川中流〈榎野川流域活性化交流会〉 ○あゆ産卵場造成／榎野川中流〈榎野川漁協〉
11月	10日	○榎野川河口域・干潟自然再生協議会第3回順応的取組促進専門委員会／山口大学工学部
12月	15日	○榎野川河口域・干潟自然再生協議会第4回順応的取組促進専門委員会／山口大学工学部
1月	24日	○第20回榎野川河口域・干潟自然再生協議会会議／セミナーパーク（大雪中止）
3月	1日	○第14回榎野川流域地域通貨・連携促進検討協議会総会／道の駅仁保の郷
	5日	○ヨシ焼き／きらら浜自然観察公園内ヨシ原の一部 〈きらら浜自然観察公園ヨシ焼き協議会（NPO法人野鳥やまぐち）〉
	6日	○宇津木の里森林整備／宇津木の里〈榎野川流域活性化交流会、宇津木の里〉

<第19回榎野川河口域・干潟自然再生協議会会議>

「榎野川河口域・干潟自然再生協議会」の第19回目の会議を平成27年5月2日、山口県漁協吉佐支店山口きらら支所で開催し、31名の委員と午後の干潟再生活動に参加する大学生が参加しました。

会議では、平成26年度の活動報告、平成27年度の活動予定等について報告しました。また、本協議会の重田委員が、「野外でアサリを食べる魚類について一特にクロダイによるアサリ食害とその影響及び食害防除」と題した講演をしました。



第19回榎野川河口域・干潟自然再生協議会会議の様子

干潟再生活動 & 榎野川流域づくり活動トピックス

<南潟 干潟再生活動「榎野川 森・里・川・海 自然再生プロジェクト」>

平成 27 年 5 月 2 日、榎野川流域地域通貨・連携促進検討協議会及び山口県漁協吉佐支店山口きらら支所の主催で、干潟再生活動を実施しました。

今年も、トヨタ自動車の協賛を受け「AQUA SOCIAL FES!!2015」として、お揃いの「青い」ビブスを着用して取り組みました。

また、開催に先立ち、今年も『榎野川の幸を味わう試食会』として、榎野川河口域（南潟）で育ったアサリのみそ汁や、山菜、稚アユの天ぷらなどが参加者に振る舞われ、干潟再生活動の前に榎野川の幸を堪能しました。



榎野川河口域南潟



山菜・稚アユの天ぷら



試食会の様子



天ぷら準備

干潟再生活動の様子

今年度の活動は、地域住民の皆様をはじめ、大学生や協賛のトヨタ自動車ディーラーなど、総勢 230 名で行いました。

干潟では、2 つのグループに分かれ、恒例の干潟耕耘作業の他に、大学生を中心に、定期的に行っているアサリの生息状況のモニタリングを実施しました。

その他、干潟再生活動に参加した子供たちを対象とした「干潟生き物観察会」を行い、砂や泥、生き物、海風にふれながら、皆で干潟での作業を楽しみました。

当日は晴天に恵まれ、夏を感じさせるような暑さの中での活動となり、干潟耕耘作業を予定よりも早く切り上げました。今回は大学生が 50 名以上参加した他、おなじみの顔ぶれもあり、地域に根付いた活動となっています。今後も、指標であるアサリ資源の増産を目指し、環境学習や漁場などの場所として順応的に再生活動を進めていく予定です。



うね耕耘



アサリ生息調査



生物観察会



集合写真

コラム 耕耘前後のベントス相の変遷について

干潟に出現する底生生物のモニタリングを行い、耕耘作業の効果について評価を行いました。

調査は、2015年5月1日（耕耘前）と2015年6月1日（耕耘後）の2回、干潮時に、耕耘実施場所（②、③）と未実施場所（①、④）の4か所で行いました。

アサリを除く、底生生物の結果は、貝類を中心とした組成でした。

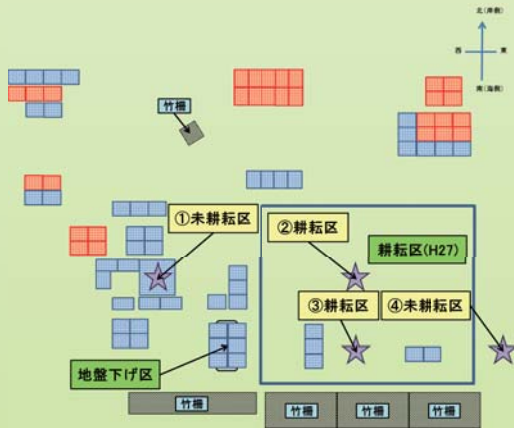
①～③は、イボウミナまたはウミナガ、④ではホトトギスガイが優占し、調査時も所々でマット状に分布していました。耕耘区では、耕耘前よりも減少することが判りました。それに比べると、耕耘しない対照区では殆ど減少していません。対照区のうち、一番西側に位置する①ではコメツキガニが確認されました。これは本地点周辺が近年砂の堆積によって地盤高が大きくなっていることが想定されます。



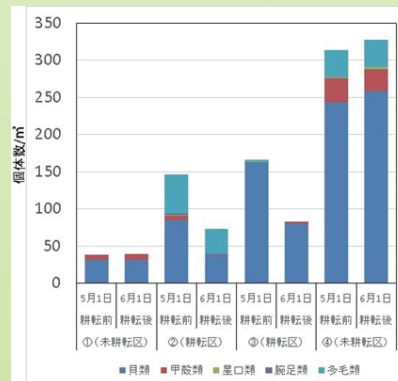
ウミナガ類の群集

調査と並行して採集したアサリをみると、興味深い事実も判明しました。耕耘区では殻長4.6～10.0mm程度の稚貝または幼貝が数多く棲息し、耕耘未実施区である①では、殻長30mm前後の成貝が数多く棲息していました。しかしながら、耕耘後の調査で半数近くの個体が死亡していることが判明しました（耕耘区②、③）。貝殻はきれいに残されていたことから、食害を受けたというよりも耕耘時に埋没してしまい、そのまま死亡した可能性が考えられました。

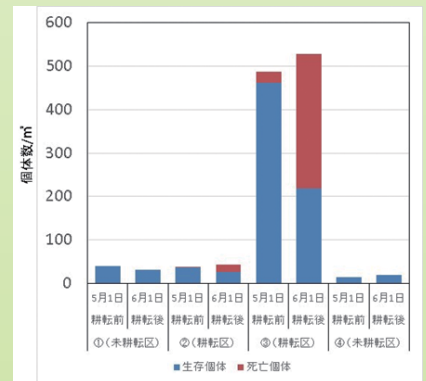
このことから、耕耘の際には稚貝または幼貝を一旦救出し、耕耘後に元に戻すなどの対策をすれば減耗を小さくすることができるかもしれません。いずれにせよ、この耕耘前後における調査で今後への糸口の一部が発見できたと考えられます。



調査位置図



底生生物の個体数の変化



アサリの個体数の変化

(学校法人 香川学園 宇部環境技術センター技術部 後藤 益滋 主査)

<榎野川河口域での活動報告>

水産多面的機能発揮事業の取組

山口県漁協吉佐支店山口きらら支所で活動する「山口湾の干潟を守る会」は、水産多面的機能発揮事業を活用して、被覆網管理、アサリのモニタリングを実施しました。また、榎野川漁協では、ナルトビエイの駆除（17回、24尾）を実施しました。



被覆網の張替え作業



被覆網の回収



ナルトビエイの駆除活動の様子

カブトガニワーキンググループの取組

山口湾のカブトガニ産卵場、生息場の保全を図るため、カブトガニワーキンググループ（原田直宏グループリーダー）を中心に、平成 18 年度から継続して取組を実施しています。

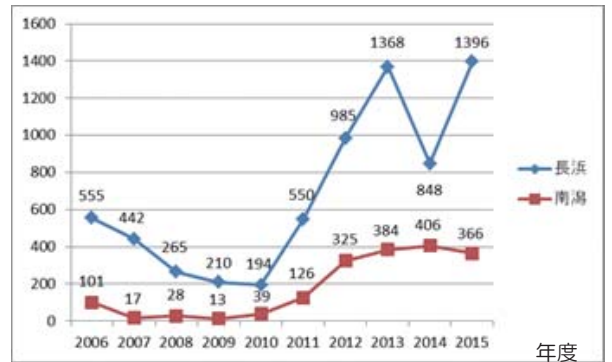
平成 27 年度は、8 月 29 日に長浜で、9 月 2 日に南潟でカブトガニ幼生の個体数調査を行い、長浜の調査ではボランティア参加者を含む 54 名で調査を行いました。

今回は、初の試みで調査ラインを GPS のみで確認しながらカブトガニ幼生生息調査を行いました。

ところどころ大きくぬかるむ中、調査ラインをまっすぐ歩くことに悪戦苦闘しましたが、予定どおり調査を実施することができました。

なお、今回の調査では、長浜 1,396 個体、南潟 366 個体の計 1,762 個体の幼生を発見し、過去最高の個体数を記録しました。また、平成 25 年夏に生まれたカブトガニの幼生が最も多く確認されました。

個体数



カブトガニ幼生個体数の推移



カブトガニ生態の学習会の様子



カブトガニの探索



集合写真

< 榎野川流域の活動報告 >

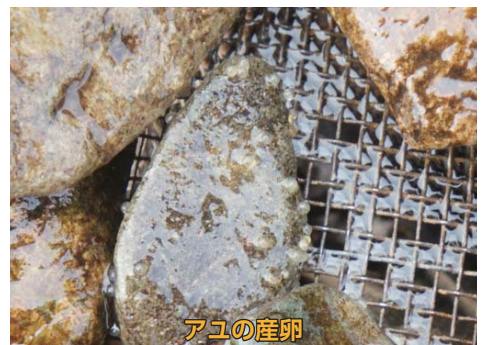
榎野川上流では、今年も仁保自治会により四季の森の整備を行いました。また、中流域では榎野川流域活性化交流会等による河川清掃や、榎野川漁協により、アユの産卵場を整える活動を行いました。



四季の森の整備



アユの産卵場整備



アユの産卵

< 榎野川河口域・干潟自然再生協議会専門委員会 >

平成 27 年 3 月 5 日、本協議会において協議会委員を中心とした 14 名からなる順応的取組促進専門委員会を発足しました。

第 1 回目の委員会は平成 27 年 3 月 30 日山口大学工学部内で開催し、平成 27 年 12 月 15 日までの間、計 4 回にわたりこれまでの活動に関する検証と検討を行い、提言書を作成しました。



順応的取組促進専門委員会会議の様子

※ 資料の公開方法

協議会で公開された資料及び議事要旨等については、榎野川河口域・干潟自然再生協議会のホームページ (<http://eco.pref.yamaguchi.lg.jp/fushino/index.html>) で公開しています。

※ ご意見・ご質問等の問い合わせは、事務局（山口県環境生活部自然保護課）に電話、FAX、メールでご連絡ください。
TEL 083-933-3060、FAX 083-933-3069、E-mail a15600@pref.yamaguchi.lg.jp